

各支部の経営指導員が経営相談支援事業を実施するなかで、日頃から接している地元の店舗・事業所のなかからオススメの商品・サービスを紹介します。

「支部からのオススメ」は本号をもって発行を終了します。これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。

北

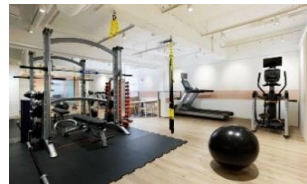
支部から

～社内ジム開設で24時間フィットネスのお勧め～

株式会社キッズ・カンパニー

淀川区宮原3-3-3ビクトリアビル7階  
最寄駅：地下鉄 新大阪駅4番出口徒歩1分、JR 新大阪駅徒歩5分  
TEL：06-6399-4170  
http://www.kidz.co.jp

社内ジム開設や健康指導者派遣、24時間営業のフィットネス開業など運営サポートの多彩なニーズに、誠実に対応、ご提案いただけます。



東

支部から

～旬の季節限定！いちご大福～

あもや南春日

生野区生野東4-1-43  
最寄駅：JR 寺田町駅北出口東へ徒歩15分  
TEL：06-6716-1563  
https://www.amoya.jp/

季節を大切に、素材を愛おしみ、地域とともに六十余年。旬を楽しめるよう季節ごとに変わる商品の中でも、人気No.1の自慢の果実大福です。



中央

支部から

～個性派ジュエリー、リフォームのできるお店～

Abu Jewellery (アブジュエリー)

中央区船場中央2-2船場センタービル5号館B1南側  
最寄駅：地下鉄 本町駅、堺筋本町駅それぞれ徒歩5分  
TEL：06-6262-7667  
http://abujewellery.co.jp/

独自のデザインで個性豊かなジュエリーが豊富。工房を設置しており、サイズ直し、チェーン切れ等に対応。ジュエリーリフォーム等も手掛けています。



西

支部から

～似顔絵名刺や千社札で、お相手を笑顔に～

black & yellow (ブラックアンドイエロー)

西区西本町2-5-19東海建物西本町ビル308号  
最寄駅：地下鉄 阿波座駅1号出口徒歩1分  
TEL：06-6534-6390  
http://uncle-pop.com

ご本人の個性や人柄を表現した似顔絵の名刺や千社札を製作、イラストのデータCDを進呈します。著作権フリーで自由にお使いいただけます。



南

支部から

～子供のフォーマルウェアをレンタル、販売～

こびとのクローゼット フジヤ

住之江区粉浜3-8-7  
最寄駅：南海 住吉大社駅徒歩4分  
TEL：06-6671-3393  
http://kohamafujiya.com/

子供の記念日、お宮参り、七五三、発表会、入学式、卒業式などの衣装を気軽にレンタルできます。洋装、和装合わせて1,000着以上の品揃えです！



# NewsLetter

ニュースレター（3月）

No. 322 (2018. 3. 20)

## 工夫ある経営で頑張っている中小企業（4件）

1頁

○素材の持つ本来の味を伝えていく最高級のプリン専門店（プリン研究所・西淀川区）

○手漉き襖紙を現代的にアレンジした新製品で海外展開に挑む（小野商店・生野区）

○QCDの徹底と積極的な提案で日本のものづくりを支える金型メーカー

（福井精機工業㈱・大正区）

○トータルソリューションの三恵工芸社～万華鏡から看板の製造まで、幅広いものづくり  
でお客様の満足を追求～（三恵工芸社・住之江区）

## 地域の動き（1件）

5頁

○「大阪あそ歩'18春」が3月31日からスタート（中央支部）

## 工夫ある経営で頑張っている中小企業

### 素材の持つ本来の味を伝えていく最高級のプリン専門店

**プリン研究所**（所在地：大阪市西淀川区佃3-1-7 代表者：北村 佑介 氏 TEL：06-6657-6099 e-mail：info@puddinglaboratory.jp ※少人数で運営しているため、お問い合わせはメールにてお願いします。 URL：http://www.shop.puddinglaboratory.jp/）は、2014年6月創業、高級プリンを製造している。1個6千円以上するという高級抹茶プリン「おこい」は、オープン当初からテレビ、雑誌等で取り上げられ、話題を呼んでいる。

創業のきっかけは、当初洋菓子全般を扱うパティシエだった北村代表が小麦アレルギーを発症したことだ。ケーキ作りを断念せざるを得なくなった際、今までの技術を生かし、小麦を使用しないスイーツで何か良いものがないかと考えた際、最初に思いついたのがプリンだった。

販売はインターネットのみで、注文を受けてから製造している。

北村代表は、パティシエ時代には「西日本洋菓子コンテスト」で金賞を受賞したほか、アイドルグループ「NMB48」のイベント用ケーキの製作や、有名テーマパークやホテルのメニューの開発にも携わっており、高い技



術を持つ“職人”。当時、原材料についてより深い知識を修得するため、自ら全国各地を巡り、生産地を見学し、どのような環境で牛や鶏が育ったのか、また生産者がどんな想いを持って生産しているのか、また生産者しか知らない材料の秘密など、いろいろな話を聞いて回った。

その中で一つ一つ試作を繰り返しながらプリンに合う材料を集めた。牛乳、卵だけではなく、



抹茶やコーヒーなどすべての材料において、通常スイーツの製造には使用しないトップクラスの素材を使用している。しかも最上級の素材を使用するだけではなく、その素材を活かすため、茶道家やバリスタなど専門家の意見を取り入れながら、北村代表が考案した独自の製法でプリンを製造している。

また、タイのプリン専門店「TORORO」の商品開発やフェラーリ正規代理店とのコラボレーションイベントでオリジナルプリンを手掛けるなど、活躍の幅も広がりつつある。

北村代表は、「母牛が子どもを育てるために出すミルクや、命そのものを産み落とす卵」。プリンはまさに命のスイーツ。材料を大切に扱い、命を紡いでいく。その気持ちを忘れず一つ一つ丁寧に作っていくことが私に与えられた使命。生産効率を重視し、安価で販売されている素材に慣れすぎて忘れられた、素材の持つ“本来の味”を伝えていきたい」と語る。材料と製法にこだわり、お客様に“本来の味”を伝える同社のさらなる飛躍に期待する。

(北支部)

## 手漉き襖紙を現代的にアレンジした新製品で海外展開に挑む

**小野商店**（所在地：大阪市生野区生野西 1-5-29 代表者：河手 靖夫 氏 TEL：06-6716-0481 URL：<http://www.onopapers.com/>）は、2018年10月に創業70年の節目を迎える和紙問屋である。

新商品の手漉き襖紙は、通常の用途でなく、企業の商業空間を彩るインテリアを想定した襖紙へ用途を転換している。原料の素材感、光の透け感や陰影、色彩や模様、手仕事の良さなど手漉き和紙特有の表現技法に、現代的なデザイン表現を組み合わせアレンジし、製作しているのが特徴。



近年、日本家屋の減少とともに襖紙の使用機会が減少している現状に、河手代表は危機感を覚え、襖紙の手漉き現場に現存する表現技法を組み合わせた新商品を開発。海外展示会出展による情報発信で襖紙の知名度向上に繋げたいと考えている。

現在、大阪の公的機関による中小企業向けの海外展開支援を受け

ながら、今後は TPP 協定加盟国のカナダ、オーストラリア、アメリカで開催される、商業空間のインテリア関連展示会出展による海外展開を図っている。

戦前、中国の天津で各種紙販売に従事していた初代創業者は、戦後、大阪で“第二の創業”として襖紙や障子紙の卸販売を始め、今に至る営業基盤を築いてきた。「原点である襖紙の卸販売に立ち返り、気持ちを新たにするとともに、創業 70 年目の節目を本格的な海外展開のスタートの年としたい。今後は創業 100 年に向け、手漉き技術をはじめとした表現方法が継承されてきた襖紙を活かし、理念、思い、ノウハウを次の世代へ引き継いでいきたい」と河出社長は意気込んでいる。

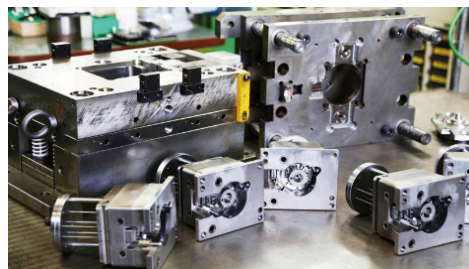
(東支部)



## QCD の徹底と積極的な提案で日本のものづくりを支える金型メーカー

**福井精機工業株式会社**（所在地：大阪市大正区鶴町 1-16-13 代表取締役：山下 喜久雄 氏  
TEL：06-6552-0115 URL：http://www.fukuiseikikogyo.co.jp/）は、1964 年に創業した射出成形用の金型メーカーである。自動車や工作機械に使われるベアリング部品や自動車用電動パワステ部品など「真円度が必要な回転する丸い樹脂部品」の精密金型を得意としている。

金型の製作にとどまらず、円環状の成型品を作る独自の技術ノウハウによる高い付加価値、新しい製品技術、革新的な生産技術を追求している点が特徴的。製品の設計段階から参画し、流動解析やさまざまな技術提案を折り込みながら、試作金型の開発から量産金型による生産準備までを一貫受注している。顧客からの信頼も厚く、大手自動車部品メーカーの認定サプライヤーとなっている。



また、自社に試作成形機を備え、最新の測定検査機を揃えるなど品質管理にも力を入れており、顧客の生産技術課題にトータルソリューションを提供している。



工場内は 5S が徹底され、美しく整然としている。高度に「見える化」されており、一目で工場内の状況が把握できる。それが、生産工程のロス削減に繋がっており、QCD（品質、コスト、納期）に対する意識は高い。山下社長は「QCD を守るのは当然で、プラスアルファの付加価値を提案することが重要である」という方針を掲げている。提案力の向上を図ることで、積極的に他社との差別化を図る狙いだ。

QCD の徹底と積極的な提案で日本のものづくりを支える金型メーカーとして成長してきた同社であるが、さらなる成長を目指すとともに、地域社会への貢献も進めている。

現在取り組んでいるのは、多能工化の推進。積極的な経営により社員数も増えてきたが、各々が様々な機械を動かせるようになることが、生産性向上につながるため、重要な課題として取り組んでいる。



地域社会に関しては、工場見学の受け入れを積極的に行っている。5S が徹底された工場内は見学がしやすく、またものづくりの工程もよく分かるため、見学者の満足度も高い。専務取締役である清水一蔵氏によると、単なる社会貢献にとどまらず、見られることで社員のモチベーションも上がるという効果もあり、これからも積極的に受け入れたいとのこと。

創業から 53 年経ち、これまで以上に地域、社会、家族に貢献できる会社を目指していくという同社。今後の発展が楽しみである。

(西支部)

---

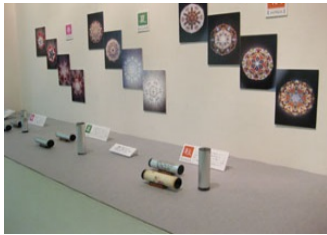
## トータルソリューションの三恵工芸社 ～万華鏡から看板の製造まで、幅広いものづくりでお客様の満足を追求～

**三恵工芸社**（所在地：大阪市住之江区安立 1-3-12 代表者：鈴木 一生 氏 TEL：06-6224-4111 URL：<http://www.sankeikougeisha.com/>）は、1957 年に創業の歴史あるものづくり企業である。

創業者の子息である鈴木代表は、創業当初から継承する看板製作に加え、需要の多様化に合わせ、幅広いものづくりに取り組み、お客様のトータルソリューションに貢献している。店舗看板をはじめ、WEB サイトの立ち上げ、ネットショップの開始、チラシや名刺・封筒のデザインなど、広告宣伝のさまざまな分野に取り扱いを広げ、精力的に取り組んでいる。

さらに近年では、万華鏡の製造販売に注力している。これは、代表者の奥様である鈴木明子氏が万華鏡作家で、万華鏡を求めるお客様に応えるためにはじめたものである。鈴木明子氏は、美術館展示をはじめ、ギャラリーでのワークショップをはじめとした手作り万華鏡教室を開催するとともに、さまざまな素材を使った万華鏡作りに挑戦中であり、2015 年からアメリカで開催される世界コンベンションにも参加した。女性らしい感性を





万華鏡に表現する、第一線で活躍中の作家である。

鈴木明子氏の作品の美しさを、右の4つの写真でご覧いただきたい。これらの万華鏡写真のテーマは、左上=雪の結晶、右上=花火、左下=星座、右下=ダイヤモンドダストである。



万華鏡の販売にあたっては、専用のサイト「カレイドスコープ フォトン」(URL: <http://www.photon-art.jp/index.html>) でネットショップを立ち上げて運営している。「フォトン=PHOTON」とは光の粒子(光子)のこと。この言葉が初めて用いられたのは1900年初頭、物理学者マックス・プランクとアルベルト・アインシュタインが、光はエネルギーの個々の小さな塊として移動するという仮説を立て、その後その正当性を証したことに由来している。「万華鏡の神秘的な光の芸術は、それぞれが二つとない作品。覗いた一瞬に美しさが伝わり、惹かれるものにしたい」と鈴木明子氏は語る。今後は万華鏡の魅力を映像化し、モニターやスクリーンにも投影していく。

万華鏡は、光の美しさと質の良さから、年々販売が伸長している。万華鏡を求めるニーズに応えるべく、同社では生産体制を整備し生産能力を高めて、事業拡大に取り組んでいる。

万華鏡から看板まで幅広いものづくりでお客様の満足を追求し、心豊かな生活や社会に貢献する同社の今後注目していきたい。

(南支部)

## 地域の動き

### 「大阪あそ歩'18春」が3月31日からスタート

一般社団法人大阪あそ歩委員会(中央区平野町)では、3月31日(土)～5月27日(日)に「大阪あそ歩'18春」(<https://www.osaka-asobo.jp/>)を開催する。

「大阪あそ歩」は2008年に「大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会」(大阪観光局、大阪市、一般社団法人大阪あそ歩委員会、大阪商工会議所)と同時に発足したまちあるき事業で、総勢200名を超える市民ガイドが、1,500年の歴史に彩られた町人のまち・大阪を案内してきた。これまで大阪市民を始めとした多くの根強いリピーターに支えられ、2012年の秋には、まち歩き事業

として初めて「第4回観光庁長官表彰」を受賞。2017年秋までに累計3万人を越える参加者を集めている。

「大阪あそぶ'18春」では、維新150年にちなんだコース、古地図を片手にめぐるコースなど全73本の「まち歩き」、「まち遊び」コースを設定している。

中央区関連の主なコース（3～4月）は次の通り。

- 「吉本興業と創始者・吉本せいゆかりの地を訪ねて ～花と咲くか月と陰るか、すべてを賭けて～」(3月31日(土)13時～)
- <維新150年>「幕末維新150年史跡巡り ～桜田門外大坂同時蜂起や新撰組足跡をたどる～」(4月1日(日)13時～)
- 「船場のメインストリートは堺筋だった！ ～秀吉の都市計画と砂糖商人のまち～」(4月4日(水)13時～)
- 「心齋橋から道頓堀を歩く ～江戸期からの賑わいの筋散歩～」(4月4日(水)13時～)
- <維新150年>「大川から始まった大阪の近代化 ～満開の桜を見て歩く～」(4月7日(土)13時30分～)
- 「長堀川を西から東へ、長堀文化を訪ねて」(4月8日(日)13時～)
- 「道頓堀はブロードウェイ ～エンターテインメントの街ミナミを巡る～」(4月11日(水)9時30分～)
- 「上方落語の祖・米沢彦八、罷り通る！ ～当世仕方物真似から生まれた上方落語～」(4月14日(土)13時～)
- 「熱き淀屋のスピリッツ ～淀屋橋から北浜までを歩く(船場と維新)～」(4月15日(日)13時～)
- 「北船場のレトロビルを観て歩く ～株の北浜・薬の道修町～」(4月21日(土)13時30分～)
- 「盛り場を昔に戻す橋ひとつ ～35年前のガイドブックと古地図で巡る～」(4月22日(日)13時～)
- 「民の力がつむぎ織りなす中之島から北船場へ ～民都大阪の活力発信地帯を回ってみる～」(4月28日(土)10時～)

上記コースの詳細・申込みは、HP (<https://www.osaka-asobo.jp/>) をご覧ください。

(中央支部)

## 大阪商工会議所 支部

北 支 部	〒530-0047 大阪市北区西天満5-1-1 ザ・セヤマビル3階 (地下鉄「南森町」、JR「大阪天満宮」) 管轄区:淀川、東淀川、西淀川、北、福島	TEL:06-6130-5112 FAX:06-6130-5113
東 支 部	〒534-0024 大阪市都島区東野田町4-6-22 ニッセイ京橋ビル2階 (JR・京阪・地下鉄「京橋」) 管轄区:都島、旭、城東、鶴見、東成、生野	TEL:06-6358-6111 FAX:06-6358-6333
中 央 支 部	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 大阪商工会議所ビル2階 (地下鉄「谷町四丁目」「堺筋本町」) 管轄区:中央	TEL:06-6944-6433 FAX:06-6944-6434
西 支 部	〒550-0012 大阪市西区立売堀4-2-21 銀泉阿波座ビル1階 (地下鉄「阿波座」) 管轄区:此花、西、港、大正、浪速、西成	TEL:06-6539-1666 FAX:06-6539-1668
南 支 部	〒543-0056 大阪市天王寺区堀越町13-18 銀泉天王寺ビル5階 (地下鉄・JR「天王寺」、阪堺「天王寺駅前」、近鉄「大阪阿部野橋」) 管轄区:天王寺、阿倍野、東住吉、平野、住之江、住吉	TEL:06-6771-2211 FAX:06-6771-2257
中 小 企 業 振 興 部	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8	TEL:06-6944-6451 FAX:06-6944-6565



たんと繁盛

大阪商工会議所は、2017年4月から3年間、事業運営の基本となるビジョン「たんと繁盛 大阪アクション〜最前線×最先端で、日本とアジアを牽引〜」に沿って様々な事業に取り組みます。“ビジネス・ホームドクター”である経営指導員が、地域商工業に活力あふれる「大阪」をつくりだすための支援をします。